

自分の目で見た能登半島

4月17日に石川県金沢市に私用で行くことになりました。

この際、報道では情報が少なくなっている能登半島地震の被災地を自分の目で確かめたく思い、翌日18日に金沢市から輪島市に向かいました。

もちろん、復旧・復興の邪魔をしないように気を付けたつもりです。

金沢市から国道249号線を通り志賀町経由で「のと里山海道」と「能越自動車道」を利用して輪島市に。そして、帰路の途中で穴水町にも立ち寄らせて頂きました。

今回の写真の多くは車窓からのものです。

私の目に入った景色のみで、被災者の方々の声はあえて聴いていません。

でも、そのご苦労は察するに余りあるものと感じました。

まず、道中で感じたのは、「道路の地割れ」と「ブルーシートがかかった屋根」の多さです。そして、輪島市に近づくにつれ「家屋の倒壊」が手付かずの状態と、公共施設の「仮設トイレ」と「仮設住宅」でした。

また、観光地も元の賑わいが取り戻せることができるのか不安と心配になりました。

私は今後とも、東日本大震災後の現状と同じように、能登半島地震の現状も風化させないように活動していきます。

輪島市



家屋につぶされたままの車



傾いたビル



倒壊したままのビル・家屋

穴水町



震災前の見附島(軍艦島)



堤防の割れ



形が変わってしまった見附島(軍艦島)



手つかずの家屋



海岸近くの段差



地割れ

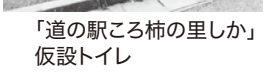


液状化現象によるマンホール隆起

志賀町



観光地の土産物売り場



「道の駅ころ柿の里しか」仮設トイレ



使用できなくなった観光施設



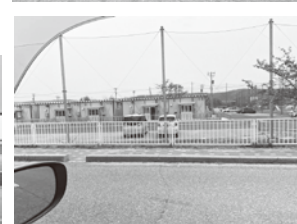
「道の駅ころ柿の里しか」仮設トイレ排水工事



通行止めの海辺の吊り橋

仮設住宅



道・山の被害



一般道 仮補修工事後



山崩れ



民家を押し流す山崩れ



一般道 補修工事後



のと里山海道 法面崩落



のと里山海道 地割れ



のと里山海道 道崩落

手付かず状態の家



